

<白金標準先物、南ア情勢の鎮静化で 3900 円固め>



(出所：オアシス)

南アフリカでは、7日にズマ前大統領の法廷侮辱罪で収監された事を機に、黒人貧困層の支持母体がズマ氏の出身地であるクワズールー・ナタール州とハウテン州で暴動と略奪が発生し、南アフリカの政情不安を要因に白金標準先物は、3750円から週末には4027円まで買われる値動きを見せている。しかし週末にはクワズールー・ナタール州とハウテン州に10000人の軍隊が出動し沈静化を見せている。またラマポーザ大統領も現地で「沈静化した」と発言するなど、落ち着きを見せている。そのため4027円で高値が止まると週末には、ミシガン大消費者信頼感指数が事前予想を大幅に下回った事を機に3881円まで値下がりしている。そのため今週は調整場面であり、3800円までの下値を模索には注意が必要と思える。しかし大勢感は下値切り上げの高値切り上げを続けており、3800円で底固めを行なった後は4027円の高値を上回る可能性が高く、押し目買いの値動きが予想される。

(2021年7月18日記載)

<テクニカル>

先週に相対力指数(RSI)の高値を結ぶ下降ラインをブレイクする直前であり、基調の変化を示すサインと指摘したが、そのブレイクを先週に示しており、高値4447円からの下げ基調は3617円を底値として、反転した値動きに変化した状態である。そのため相対力指数の強弱の分岐点である50%を上回る事が示されると値上がりを強めて来ると予想される。

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロイオンス) : 655890 (前週比-61807)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 74.59 (前週比-0.54)